

令和2年度在宅医療関連 講師人材養成事業

事例集

主催：一般社団法人 日本ケアアライアンス
公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

令和3年3月

好事例・先進事例

- 事例① 医師向け研修会の開催
～山形県酒田市の事例より～
- 事例② 多職種向け研修会の開催
～東京都豊島区の実例より～
- 事例③ 高齢者施設向け研修会の開催
～兵庫県たつの市の事例より～

事例① 医師向け研修会 ～山形県酒田市の事例より～

研修会名：主治医研修会

実施主体：地区医師会

開催エリア：山形県酒田市

プログラム内容：
在宅医療連携に関わる研修会
〔具体的な内容〕「在宅医療とCOVID-19」

対象者：医師、歯科医師、看護師等、薬剤師、介護支援専門員、行政職、
その他の在宅に関わる職種

参加者数：21～40名

開催方法：対面研修

財源：山形県の事業費（事業名：主治医研修事業）

実施主体の役割

- ①企画
- ②会場や講師手配、物品準備等の運営
- ③多職種への案内および出席者の集約

受講者が担った役割

- ①企画・運営
- ②座長、当日の進行

研修会の開催を可能にした要因

- ①市の理解が得られ、会場として市の健康センターを利用することができ、結果として経費の節減にも繋がった。
- ②当事業研修会の講師が地域の保健所長だったため、講師の招聘がしやすかった。
→ **当事業研修会の受講の効果**
- ③山形県からの委託事業として山形県医師会が受託し、その予算により実施することができた。（例年予算化あり）

研修会を企画・開催するための工夫等

今年度は多くの関係者が、新型コロナ感染症で苦勞してきたので、タイムリーな話題を選択した。

研修会を企画・開催するための課題等

対面研修で開催したため、会場設営で密にならない等、感染予防に気を遣った。また、例年は研修後飲食を伴う交流会を開催してきたが、今年度は開催できなかった。

事例② 多職種向け研修会の開催 ～東京都豊島区の事例より～

研修会名：令和2年第1回豊島区医師会多職種連携全体会

実施主体：豊島区医師会

開催エリア：東京都豊島区

プログラム内容：

在宅医療の周知・啓発の研修、在研修医療連携に関わる研修会、

その他（新型コロナウイルス感染症と地域の取り組み）

〔具体的な内容〕 講演1 演題：「在宅医療におけるCOVID-19について(仮)」

事例報告 演題：「要介護5の患者を在宅でケアする主介護者が感染した事例」

「担当者会議直後に患者の感染が判明し担当者が濃厚接触者となった事例」

「設内での濃厚接触～発症～入院をオンライン診療等で対応した事例」

講演2 演題：「としま在宅感染対策チームについて」

対象者：医師、歯科医師、看護師等、薬剤師、管理栄養士・栄養士、歯科衛生士、リハビリ専門職、介護支援専門員、介護スタッフ、その他の在宅に関わる職種

参加者数：101名～150名

開催方法：Web（オンライン）研修（Zoom使用）

財源：豊島区の事業費（事業名）（事業名：豊島区地域医療介護ネットワーク構築事業）

研修会の開催を可能にした要因

- ①出演者から協力を得られた。
- ②毎年、区から予算を貰っている。
- ③会の開催について、地区医師会から理解が得られている。
- ④地区医師会の職員がオンラインシステムのフォローをしてくれた。（医師会職員の存在は大きかった。）
- ⑥当事業研修会を受講し、研修会の企画・開催方法について学んだ。（事例報告など発表を担当するものを多くすることなど）

→ **当事業研修会を受講の効果**

実施主体の役割

- ①企画
- ②会場や講師手配、物品準備等の運営

受講者が担った役割

- ①企画・運営
- ②講師、シンポジスト等

研修会を企画・開催するための工夫等

- ・WEB開催は以前から行っているが、今回は多職種を対象としたため、100人規模の参加者が見込まれたため、Zoomでも「ウェビナー」を利用することとした。その準備を複数人で行った。
- ・演者に依頼すべく普段からアプローチを行っている。
- ・SNSなども利用している。

研修会を企画・開催するための課題等

- ・WEB開催では顔の見える連携の構築になりにくい。
- ・今回の研修会の企画では（当事業研修会で行われたような）Zoomの「ブレイクアウトルーム」は活用したグループワークを行わなかったが、今後はブレイクアウトルームを活用したグループワークも企画していきたい。

事例③ 高齢者施設向け研修会の開催 ～兵庫県たつの市の事例より～

研修会名：在宅・高齢者施設等における新型コロナウイルス感染対策講習会

実施主体：地区医師会

開催エリア：兵庫県たつの市

プログラム内容：

基礎・スキルアップ研修

〔具体的な内容〕在宅・高齢者施設等における新型コロナウイルス感染対策講習会

対象者：看護師等、リハビリ専門職、介護支援専門員、介護スタッフ

参加者数：1～20名

開催方法：対面研修

財源：地区医師会の事業費

実施主体の役割

- ①企画
- ②会場や講師手配、物品準備等の運営

受講者が担った役割

- ①企画・運営

研修会の開催を可能にした要因

- ①行政から理解を得られ、訪問看護施設や高齢者施設のスタッフへ研修会の案内をして貰えた。
- ②当事業研修会を受講し、企画することができた。
→ **当事業研修会の受講の効果**
- ③地区医師会から経費の支援を得られた。

研修会を企画・開催するための工夫等

感染対策を行って、実技指導を行った。

研修会を企画・開催するための課題等

ズーム等のオンラインツールの活用には、準備に時間が必要である。（今回、企画から開催までの時間がなく、オンラインツールを利用できなかった。